公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	むかわ町こども発達支援センター穂別きらり		
○保護者評価実施期間	令和 6年 9月 10日		～ R6年 10月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	R6年 9月 1日		～ R6年 9月 27日
○従業者評価有効回答数		6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 10月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・定期的にこども園とケース会議を開催し、困り感なく過ごすための情報共有を図り、支援方法を検討する。	・むかわ町の担当保健師、心理士も参集し、支援方法についてアドバイスをもらったり、協議したりする。	・こども園とケース会議を開催するにあたって、参加してもらいやすい方法・日時を協議しなければならない。
2	・必要な研修を受講できる環境である。 必ず講習を受けるようにしている。	・全員が年に1回以上、外部の研修を受けている。	・ZOOM研修などは、参加できる職員皆で受けるようにし、専門性を高めるようにする。
3	・児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている。	・児童発達支援計画を職員全員で検討し、子どもさんの課題、状況把握し、皆で支援できる体制をつくっている。	・今後も児童発達支援計画を全職員で把握し、どの職員も声掛けできるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・夏季の猛暑日にエアコンなしの個別室は厳しい。改善が必要	・ホールにはエアコンが設置されており、暑い日は全体にいきわたるように開放しているが、限界がある。	・ホールにはエアコンついているので、暑い日はホールに移動しての療育とする。 ・今後も個別室のエアコン設置に向けて、要求していきます。
2	・通信・ホームページ・SNS等発信されているかよくわからない。	・毎月通信を発行している。自己評価をホームページに掲載している。	・毎月通信発行している。周知方法としてSNSの活用など検討していきたい。 ・自己評価はホームページに掲載、事業所玄関にも掲示しているので案内していきたい。
3	・大きくになると運動する場所が狭く、ホールの天井が低い。	・大きくになると運動する場所が狭く、ホールはボールや羽根がすぐに天井にひっかかる。	・それなりのルールを設定していき、工夫していく。 ・粗大運動が重ならないよう、個々の療育を時間配分するよう配慮する。